



定規を使うだけで・・・



お子さんは定規を使って学習していますか？

そのことは、お子さんのノートを見ると確認できます。実は、定規を使って丁寧に線を引くことで、次の効果が期待できるのです。

国語の授業で、定規を使って
めあてを囲んでいます。この丁寧
さが学力を向上させます！

- 効果 1** 人間の指先はたくさんの神経が通っていて、脳につながっています。鉛筆を持つ手だけでなく、定規を使って両手を動かすことで脳が活発に動きます。
- 効果 2** 定規を使ってノートを書くと、とても見やすくなります。後から自分のノートを見た時に、ノートが汚いと分かりにくくなりますね。定規を使ってきれいに書くと復習にも役立ちます。
- 効果 2** 東京大学に合格した人たちのノートを掲載した本があります。勉強ができる人はノートがとてもきれいです。もちろん定規も使っています。勉強ができるからノートがきれいなのではなく、ノートがきれいだから勉強ができるようになっているのです。
- 効果 3** 定規を使わない方が計算が速くできると思うかもしれませんが、しかし、算数の問題解決で最も大事なことは、速さではなく正確さです。速さばかりを求めて雑にやると計算ミスがたくさんします。時間はかかるかもしれないけれど、定規を使って丁寧に書いた方がミスが少なくなり、テストの得点がアップします。

◆シリーズ③◆ 枠組みやルールを機能させる親の努力（忘れ物）

《持ち物をなくしたり、忘れ物をしたりする》

忘れた物と場合によっても違いますが、忘れ物をした際に、いつでも学校に届けてあげるといことは子どものためにならないと思います。自分の忘れ物の当然の結果を子どもは学校で体験すべきだと思うからです。また、きちんと管理しないために無くしてしまっても、代わりの物を簡単に買ってやるのはよくありません。物を無くしてしまう管理の悪さも自分の責任です。当然の結果を体験させることが子どもにとって大切です。それが辛いことだったり困ることだったりすれば、自分でしっかり管理するようになります。



但し、入学したての1年生は、忘れ物をしてみんなと同じように学習できないことで辛い思いをすることがありますので、発達段階や個人の事情によって判断する必要があります。

届けた方がよいもの	届けなくても大丈夫そうなもの
👉健康や締め切りに関わるもの ・水筒（特に暑い日） ・傘（雨の日） ・お弁当 ・薬 ・締め切りのある提出物 など 	👉なくても対応可能なもの ・教科書（友達に見せてもらえる） ・宿題（後日提出できる） ・鉛筆などの文房具（借りられる） 

